

意見交換会実施報告書

令和 7 年 10 月 24 日

裾野市議会議長 様
広報広聴委員会委員長 様

報告者 小林 浩文

1. 意見交換会の概要

開催日時	令和 7 年 10 月 17 日 15 時 00 分 ～ 16 時 30 分		
開催場所	福祉保健会館		
代表者 (委員会名)	厚生文教委員会		
出席議員	二ノ宮善明、内藤法子、井出悟、増田祐二、 大橋勝彦、小林浩文、岡本和枝、賀茂博美、 小林俊、杉山茂規、木村典由、		
参加市民数 (団体名)	20 人 (ケアマネージャー)		
実施 内容	議会報告		
	意見交換	ケアマネージャーの役割、独居高齢者の権利 擁護と生活上の課題に対する他市の取り組み に関し意見交換を行った。	

2. 市民の質問・意見等

質問と回答など	・ケアマネージャーが本来果たすべき役割に加え、グレーゾーンともいえる業務があり、要介護者の生活全般へのサポートを医療、福祉、行政などから求められている現状がある。 ・独居高齢者は、認知機能が低下する前に、自身が意思表示をすることができなくなってしまった場合、亡くなった場合に、親族の有無や誰に連絡し、何をどのように処理するのか、といったことを予め明らかにしておくことが大切である。 ・生活保護受給者については、行政の関りがあり対処できている。ケアマネージャーは、親族等の情報を得られず、認知機能等が低下しないうちは、後見人を選任することもないため、早い段階から行政が関わり、必要な情報を得ておくことで課題が解決される。
---------	---